

敬老パスの これからを考える

敬老パス（敬老特別乗車証）は、75 歳以上の市民を対象とした路線バスの無料乗車制度です。高齢者の健康増進を目的として、昭和 50 年に開始しました。

これまで多くの高齢者に活用されてきましたが、長年続けてきた中でさまざまな課題も生じており、市議会や市民の皆さまからも多数のご意見をいただいています。時代に合った仕組みに見直していくため、幅広い議論が必要となっています。

今回の特集では、敬老パスの見直しの状況や今後の取り組みなどについて説明します。

敬老パスのこれまでの経緯

敬老パスの歴史は長く、昭和 50 年に制度を開始してから、時代に合わせて見直しを行ってきました。現在、さらなる環境の変化に対応した見直しを検討中です。

制度の開始

75 歳以上の市民が対象の市営バスの無料乗車証



人口 250,729 人
※昭和 50 年 10 月 1 日時点。
うち 75 歳以上 6,679 人
市の事業費 33,042 千円
※事業費は昭和 51 年度の通年のもの。

昭和 50 年

現在の IC カードへ

現在の IC カード（ナガサキニモカ）に変更



平成 20 年

令和 2 年

現在

制度の拡充、IC カードへ移行

- ・西肥バスも対象に加えた共通乗車券に変更
- ・紙乗車券から IC カード（長崎スマートカード）に変更

持続可能な制度へ

環境の変化に対応するため、制度見直しを検討



人口 226,803 人
※令和 7 年 10 月 1 日時点。
うち 75 歳以上 43,407 人
市の事業費 475,580 千円
※令和 7 年度の予算。

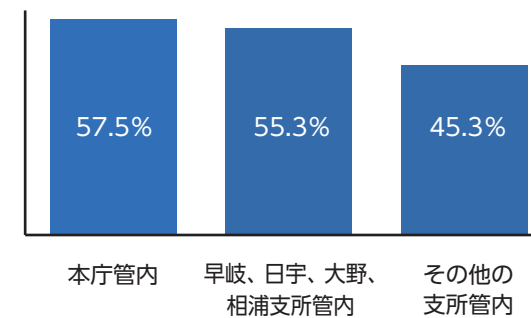
敬老パスの課題

本市の敬老パス制度を取り巻く状況が変化してきたことから、地域での利用機会の差や、利用する人とならない人との公平性、財政負担など、さまざまな課題が生じています。市民のニーズに合った持続可能な制度に向けた見直しが必要となっています。

① 地域間での公平性

地域によってバスの本数などに差があり、敬老パスを持っていても利用しにくい地域があります。バスの本数が少ない地域では、本数が多い市街地に比べて敬老パスの交付率が低くなっています。

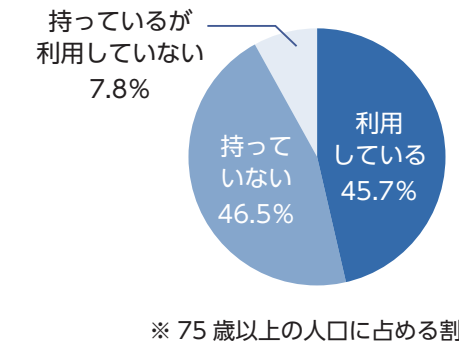
地域別の交付率



② 制度利用の公平性

75 歳以上で半数以上の人々が敬老パスを利用しておらず、取得しても利用していない人も一定数います。利用できる交通手段を増やすなど、幅広い人が利用できるような見直しが必要です。

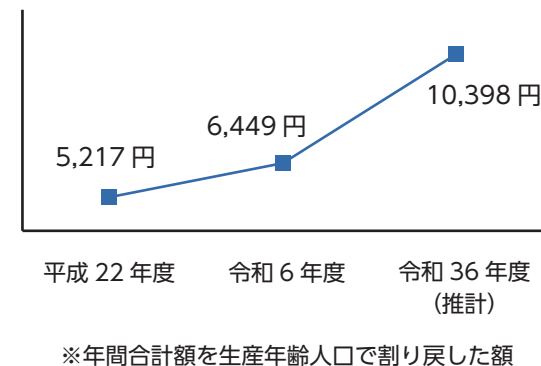
敬老パスの利用状況



③ 大きな財政負担

敬老パス利用額の年間合計は約 8 億円で、そのうち市は 4.8 億円を負担しています。生産活動の中心となる年齢層（15 ～ 64 歳）の人口が減少する中で、今後も大きな財政負担が見込まれています。

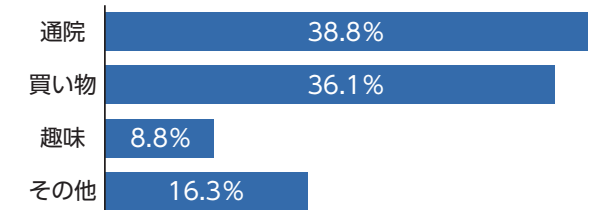
生産年齢 1 人当たりの経費負担額



④ 制度の目的と利用実態

敬老パスは「健康増進」を目的とした制度ですが、実際には趣味・レジャーなどの健康増進のために利用している人は少ない状況です。改めて何を支援する制度とするか、見直しが必要です。

利用目的（令和 5 年度市民アンケート）



見直しに向けたこれまでの動き

これまで佐世保市保健福祉審議会において、制度の今後の在り方について議論を重ね、本市で見直し案をまとめ、市議会に報告しました。今後は、市議会からの意見も踏まえ、市民の皆さまから広く意見を伺いながら、より良い制度の実現に向けて検討を進めていきます。

令和7年
5～12月

佐世保市保健福祉審議会

佐世保市保健福祉審議会（専門家や有識者で構成される会議）の高齢者福祉専門分科会で議論され、現在の財政負担の維持を念頭に次のような見直し案が出されました。

見直し案

公平性の観点から、全ての対象者が利用できる制度とするため、バス、鉄道、タクシーなど、さまざまな公共交通機関で利用できる年額8,000円の共通券方式とする。
※見直し案には、縮減できた財源による公共交通対策や健康増進事業の検討を求める要望も付け加えられました。



令和8年
2月

佐世保市議会（文教厚生委員会）

佐世保市保健福祉審議会からの見直し案の内容で、令和9年10月に制度を見直すことを市議会へ報告したところ、次の通り意見が出されました。

意見

- ・見直し対応のスピードを緩め、市全体での検討を進めること
- ・見直しにあたり、市民の声をよく聞き、よりよい制度設計となるよう取り組むこと



令和8年
5～7月

地区自治協議会

市議会からの意見を踏まえ、地区自治協議会での懇談会を開催し、制度に対する市民の皆さまの率直な意見を伺いました。懇談会は27地区で開催し、合計469人が出席しました。

寄せられた意見

- ・敬老パスがないと困る
- ・乗れるバスが少ない
- ・制度を見直す財源で交通網を維持してほしい
- ・運賃の一部を負担してもいい
- ・バスが不便な地域でも使える共通券方式はいいと思う
- ・共通券方式で年額8,000円は少ない
- ・「健康増進」のためのものではなく、通院や買い物などに欠かせない「移動支援」だと思う



皆さまの意見をお聞かせください

より多くの人の意見をお聞きするため、対面、オンライン、紙など、さまざまな方法で意見を募集します。皆さまからいただいた意見などを踏まえ、持続可能な敬老パス制度の在り方について検討していきます。

皆さまに聞きたいこと

敬老パスの制度を、どのように見直していくと良いと思いますか？

- 見直し案で出ている8,000円の共通券方式
- 利用者負担の在り方 など

対面方式

敬老パスの現状を説明した後、皆さまから意見を直接お聞きする市民懇談会を開催します。自由に意見交換を行いますので、どなたでもお気軽にご参加ください。

日程	場所
10月31日(土) 14時～	まちなかコミュニティセンター
11月12日(木) 19時～	早岐地区コミュニティセンター
11月18日(水) 19時～	相浦地区コミュニティセンター
11月21日(土) 14時～	市役所
11月25日(水) 19時～	吉井地区コミュニティセンター



市 HP（市民懇談会）

オンライン方式

スマートフォンなどから自由に意見を投稿できる「させぼイス」に、意見をお寄せください。



日程 9月24日(木)～11月30日(月)

※オンラインでの回答が難しい人は、市役所1階や各支所、各コミュニティセンターに設置している用紙でも回答できます。ぜひご活用ください。



市 HP（させぼイス）

特集に関する問い合わせ 健康づくり課 ☎ 24-1111